

授業科目名		担当講師名		対象学年
子ども家庭福祉		吉村 喜美代 中村 周子		2年次
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	実務経験
講義	1(30)	2年生教室	前期	有 ・ 無
授業のキーワード	子ども、人権擁護、家庭福祉、少子化、子ども虐待・DV、地域連携			
授業の目標及び期待される学習効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 2. 子どもの人権擁護について理解する。 3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 4. 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 5. 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。 			
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子ども家庭福祉の理念と概念 (2) 子ども家庭福祉の歴史の変遷 (3) 現代社会と子ども家庭福祉 2. 子どもの人権擁護 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの人権擁護 (2) 児童の権利に関する条約 (3) 子ども人権擁護と現代社会における課題 3. 子ども家庭福祉の制度と実施体系 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子ども家庭福祉の制度 (2) 子ども家庭福祉の実施体系 (3) 児童福祉施設 (4) 子ども家庭福祉の専門職 4. 子ども家庭福祉の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 少子化と地域子育て支援 (2) 母子保健と子どもの健全育成 (3) 多様な保育ニーズへの対応 (4) 子ども虐待・DV(ドメスティックバイオレンス)とその防止 (5) 社会的養護 (6) 障害のある子どもへの対応 (7) 少年非行等への対応 (8) 貧困家庭、多国籍の子どもとその家庭への対応 5. 子ども家庭福祉の動向と展望 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次世代育成支援と子ども家庭福祉の増進 (2) 地域における連携・協働とネットワーク (3) 諸外国の動向 			
履修上の要件				
テキスト、教材、参考書	「児童家庭福祉 子どもと家庭を支援する」[第3版] 大津 泰子著			
使用機器等				
成績評価の方法	・科目終末試験・レポート			
備考				

